

令和元年度

坂井市立三国病院改革プラン評価書

令和3年3月

坂井市立三国病院改革プラン評価委員会

評価書

【新改革プランP12～P14 数値目標、収支計画、具体的取り組みの評価】

◆ はじめに

- ・坂井市立三国病院改革プラン評価委員会は、坂井市立三国病院改革プラン(以下「改革プラン」という。)の点検・評価を実施した。

＜評価委員の主な意見＞

- ・各評価項目は、概ねどの分野も努力されている様子が窺える。
- ・医師、看護師の確保に努めてほしい。職員数の充足により、働きがいのある、魅力ある職場づくりに努めること。
- ・少子化の影響で分娩数、小児患者の減少傾向にあると思われるが、地域の総合病院として、産婦人科、小児科を標榜する医療機関として役割を果たすこと。
- ・将来的な在宅医療の需要に備え、訪問診療・看護等において地域包括ケアシステムの一端を担う医療機関として今後努めること。
- ・救急告示病院として二次救急医療の役割を強化すること。

- ・評価にあたっては、改革プランに掲げる項目の数値目標について、坂井市立三国病院が行った自己評価を基礎として次の4段階評価基準による評価を行った。

<評価説明>

評 価	評価の基準	
◎	計画、目標数値を大きく上回った	(+10%超)
○	計画、目標数値をほぼ達成した	(+10%まで)
△	計画、目標数値をやや下回った	(-10%まで)
×	計画、目標数値を大きく下回った	(-10%超)

<評価>

・経営の効率化

【新改革プランP12 1. 経営指標に係る数値目標】

- ・◎が2項目、○が3項目、△が4項目、×が4項目となった。
収入確保に関するものとして、一日平均入院患者数、病床利用率は、目標値を上回り達成した。一方で、一日平均外来患者数は目標値を下回り、前年度実績値も下回る結果となった。
収支改善に関するものについては、目標値をわずかに下回ったが、入院収益の増収により前年度より達成率は向上した。
経常損益も目標値を下回ったが、入院収益の増収により前年度より達成率は向上した。

【新改革プランP14 4. 令和2年度（平成32年度）までの収支計画】

- ・◎が2項目、○が2項目、△が2項目となった。
入院収益の増収により、収益の実績値は計画値を上回った。一方で、給与費等の増により医業費用は増加し、純損益も計画値を下回ったが、昨年度実績値より、向上した。
一般会計補助金は、計画値、昨年度実績値と同額であった。

【新改革プランP13 3. 目標達成に向けた具体的な取り組み】

- ・○が5項目となった。
経営改善を図る目的として民間経験のある専門性の高い職員を登用し、院内職員の目標値に対する数値意識を高めるとともに、自ら考え行動するように促した。

経営の効率化

【新改革プランP12 1. 経営指標に係る数値目標の設定】

項目	R1		達成率	評価
	目標値	実績値		
① 収支改善に関するもの				
經常収支比率	98.9	97.3	98.4%	△
医業収支比率	85.3	84.4	98.9%	△
② 経費節減に関するもの				
職員給与費比率	60.7	67.1	90.5%	△
薬剤費比率	8.6	7.5	114.7%	◎
③ 収入確保に関するもの				
一日平均入院患者数（人）	70.0	74.6	106.6%	○
一日平均外来患者数（人）	270.0	248.9	92.2%	△
病床利用率（%）	66.0	71.1	107.7%	○
医師1人一日平均入院患者数（人）	6.0	6.9	115.0%	◎
看護師1人一日平均入院患者数（人）	0.9	0.9	100.0%	○
④ 経営の安定に関するもの				
医師数（人）	12	10	83.3%	×
看護師数（人）	61	54	88.5%	×
現金保有残高（百万円）	100	1	1.0%	×
經常損益（百万円）	△ 20	△ 56	35.7%	×

【新改革プランP 1 4 4. 令和2年度までの収支計画】

【単位：百万円】

項 目	R 1		評価	備考
	計 画	実績値		
〔収益的収支の主なもの〕				
医業収益 a	1,515	1,636	○	
医業外収益 b	340	365		
経常収益 a+b (A)	1,855	2,001		
医業費用 c	1,777	1,938	△	
医業外費用 e	98	118		
経常費用 c+e (B)	1,875	2,056		
経常損益 (A)-(B) (c)	△ 20	△ 55	△	
特別損益 (e)	0	2		
純損益 (c)+(e)	△ 20	△ 57		
累積欠損金	△ 2,550	△ 2,667		
〔資本的収支の主なもの〕				
企業債 a	100	356	◎	
他会計出資金 b	125	112		
収入計 a+b (A)	225	468		
建設改良費 c	100	362		
企業債償還金 d	228	187		
支出計 c+d (B)	328	549		
不足額 (A)-(B)	△ 103	△ 81		
補填財源				
(損益勘定内部留保資金)	△ 103	△ 81	◎	
〔上記計画に含まれる一般会計補助金の総額〕				
一般会計補助金	500	500	○	
うち基準内	420	420		
うち基準外	80	80		

【新改革プランP13 3. 目標達成に向けた具体的な取り組み】

目 標	実 績	評価
(1) 民間的経営手法の導入		
・ 経営コンサルタント導入に伴う経営指導などによる財務の改善	・ 経営スキルの高い民間人事務局長を職員として採用し、財務の改善に努めた。	○
・ 地域包括ケア病床導入支援サポート業務委託などによる早期導入の実現	・ 上記により採用した事務局長による経営分析を実施した。	○
・ 医事専門員による診療報酬のチェックなどの医事業務の改善	・ 民間病院でキャリアのある医事担当職員を採用し、業務改善に努めた。	○
(2) 経費削減・抑制対策		
・ 多くの部門が民間に委託されており、さらなる民間委託は困難であるが、新規の医療機器導入などについてはコスト計算したうえで検討を行う。	・ 専門性の高い医療機器にかかる保守・点検・管理・修理業務、また、購入にかかる業務の担当者として、民間企業でキャリアのある職員を採用し、医療機器にかかる経費の節減に努めた。	○
(3) 収入増加・確保対策		
・ 地域包括ケア病床の導入、地域医療連携の強化などにより、入院患者の増加を図る。なお、診療報酬における加算を確保できるよう努める。	・ 医療に関する専門的知識に精通する職員を採用し、入院患者の獲得、診療報酬の加算や、病院運営の効率化に努めた。	○

・診療科別収益状況(入院) <消費税込>

【単位：人、千円】

診療科	年度	30年度決算(A)		元年度決算(B)		増減【(B)-(A)】	
		延べ患者数	入院収益	延べ患者数	入院収益	延べ患者数	入院収益
内科		14,658	484,392	18,788	611,033	4,130	126,641
外科		962	52,533	999	35,149	37	△ 17,384
小児科		300	9,163	288	8,472	△ 12	△ 691
産婦人科		749	42,123	915	48,008	166	5,885
整形外科		5,239	172,050	5,932	201,201	693	29,151
脳神経外科						0	0
眼科		289	27,117	398	33,143	109	6,026
						0	0
合計		22,197	787,378	27,320	937,006	5,123	149,628

※ 延べ患者数は在院患者数を指す。

・診療科別収益状況(外来) <消費税込>

【単位：人、千円】

診療科	年度	30年度決算(A)		元年度決算(B)		増減【(B)-(A)】	
		延べ患者数	外来収益	延べ患者数	外来収益	延べ患者数	外来収益
内科		26,258	241,961	25,636	232,115	△ 622	△ 9,846
透析内科		3,709	109,962	3,650	106,760	△ 59	△ 3,202
外科		1,866	16,759	1,626	12,504	△ 240	△ 4,255
小児科		9,308	36,076	8,993	34,566	△ 315	△ 1,510
産婦人科		5,373	29,967	5,441	30,974	68	1,007
整形外科		10,514	70,348	9,880	79,903	△ 634	9,555
脳神経外科		1,211	8,391	1,214	8,335	3	△ 56
眼科		5,905	31,418	5,836	33,403	△ 69	1,985
耳鼻咽喉科		4,854	22,047	4,593	20,357	△ 261	△ 1,690
皮膚科		3,619	10,666	3,170	8,457	△ 449	△ 2,209
泌尿器科		1,683	11,787	1,657	11,048	△ 26	△ 739
合計		74,300	589,382	71,696	578,422	△ 2,604	△ 10,960

・平成28～令和元年度の損益状況
(減価償却費・繰延勘定償却を含む) <消費税抜>

(単位：千円)

項 目	平成28年度 (実績)	平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)	対前年度 比較
医業収益	1,390,941	1,539,267	1,515,737	1,636,396	120,659
入院収益	652,842	777,450	785,897	934,415	148,518
外来収益	594,714	618,163	588,523	579,028	△ 9,495
その他医業収益	143,385	143,654	141,317	122,953	△ 18,364
(うち一般会計負担金)	60,956	67,418	68,866	55,732	△ 13,134
医業外収益	477,784	341,748	357,906	365,290	7,384
(うち一般会計負担金・補助金)	449,690	310,427	328,333	332,662	4,329
経常収益(医業収益+医業外収益)	1,868,725	1,881,015	1,873,643	2,001,686	128,043
医業費用	1,810,379	1,900,708	1,930,897	1,938,394	7,497
給与費	1,051,024	1,038,156	1,059,480	1,098,724	39,244
材料費	252,775	247,684	239,389	237,452	△ 1,937
(うち薬品費)	125,984	131,092	127,549	122,977	△ 4,572
経費	316,053	424,818	455,118	456,233	1,115
減価償却費	186,542	185,577	172,195	141,181	△ 31,014
その他医業費用	3,985	4,473	4,715	4,804	89
医業外費用	113,873	114,765	113,998	118,271	4,273
支払利息	53,099	50,674	48,398	46,048	△ 2,350
繰延勘定償却	0	0	0		0
その他医業外費用	60,774	64,091	65,600	72,223	6,623
経常費用(医業費用+医業外費用)	1,924,252	2,015,473	2,044,895	2,056,665	11,770
経常損益	△ 55,527	△ 134,458	△ 171,252	△ 54,979	116,273
特別利益					0
特別損失	1,131	5,671	709	1,676	967
純損益	△ 56,658	△ 140,129	△ 171,961	△ 56,655	115,306

坂井市立三国病院改革プラン評価委員会 委員名簿

区 分	氏 名	所 属 団 体 ・ 役 職 名 等
委員長	戸 板 進	坂井市議会 教育民生常任委員会 委員
委員	松 本 順 雄	坂井地区医師会 三国ブロック代表
〃	萬 道 浩 子	三国地区市民代表
〃	飴 嶋 慎 吾	坂井市立三国病院長

坂井市立三国病院改革プラン評価委員会 開催経過

開 催 日	議 題
令和3年3月18日(木)	委員長の選出 令和元年度改革プランの点検・評価について